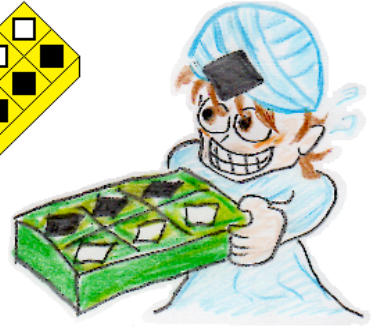
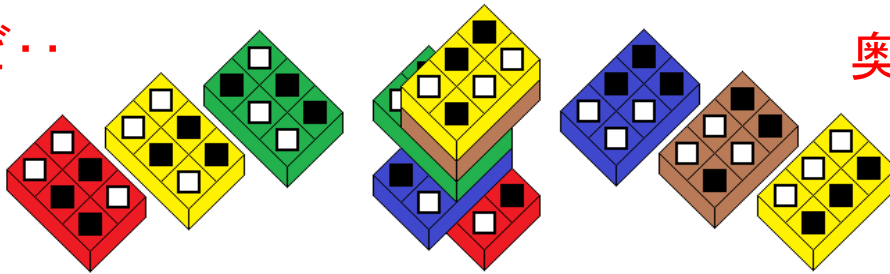
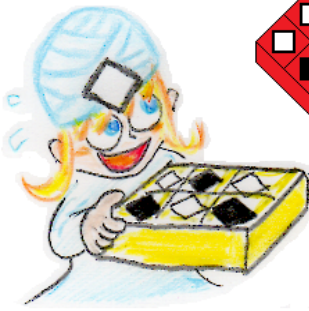


簡単だけど・・・

奥が深いぞ！

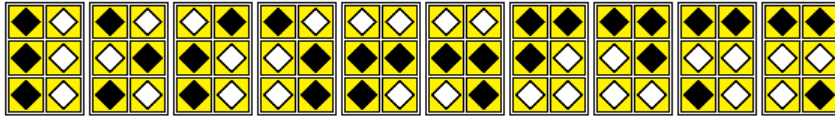


# ダイヤの箱

2～4人で短時間で遊べる！新しく楽しいパズルカードゲーム！

## ★「ダイヤの箱」の内容物について

- 表紙 & 説明書(この紙の事になります。)
- カード収納用ビニール袋: 1枚
- 50枚のカード(白紙予備4枚)(カードは5色X下記10パターン)



カードはマイクロミシン目に沿って何回か折り曲げる事で切り離せます。

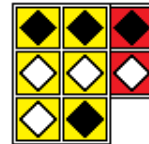
## ★「ダイヤの箱」のストーリー

プレイヤーはダイヤを取り扱う商人。ある日の依頼で、各プレイヤーに箱に入った大量のダイヤが届いた。依頼によると、そのダイヤを白は白、黒は黒のダイヤで縦に並ぶように箱を積み上げて欲しいという。しかし、箱の色は互い違いに積み上げるように、ということだ。奇妙な依頼だが、先に終わった者には莫大な報酬を与えるという話を聞き、各プレイヤーは自分達のを他よりも早く片付けようと奮闘する。

## ★「ダイヤの箱」のルール

- (1)50枚のカードをシャッフルし伏せて山札にします。
- (2)山札からカードを2枚取り、右図のように中央に初期配置します。
- (3)山札から各プレイヤー(2～4人)に初期手札を5枚ずつ配ります。手札は常に完全公開とし、テーブルに表向きにして横一列に並べます。
- (4)後述のルール(■部分)に従い、各プレイヤーは中央のカードに1枚ずつ手札のカードを重ねていきます。一番先に手札のカードを0枚にしたプレイヤーの勝利です！

### <初期配置例>

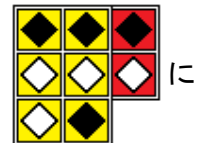


初期配置では、ダイヤ、枠の色は無視して左図のように4マス重ねます。

### ■カードを重ねる際のルール

- 1、ダイヤの色が、重ねようとしている下のダイヤと色が一致していないといけません。
- 2、カードの枠の色が、重ねようとしているマスに1マスでも同色がある場合、そこに重ねることはできません。(違う色のカードしか重ねられない)
- 3、カードを重ねた時、下にカードが無いマスは、「はみ出した」として扱い、はみ出したマスの数と同じ枚数を、ペナルティーとして山札から引き、手札に加えます。(雑な仕事をした事に対するペナルティーとなります。) 1マスも重ねられなかったカードは、中央のカード群のどこかに隣接するように置きます。この時の隣接するマス数は何マスでもOKです。

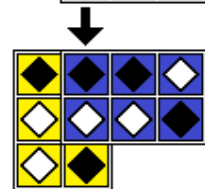
### <4マス重ねの例>



に



を重ねる

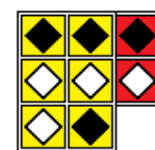


2マスはみ出し  
2ペナルティー

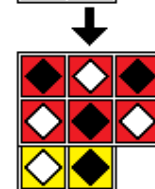
### ■順番のルール

最初に中央のマスに6マス重ねられるカードを持っている人からスタートし(複数いる場合はじゃんけんで一人を決め)、そこから時計回りに必ず1枚ずつカードを重ねていきます。パスは出来ません。誰も6マス置けない場合は、初期配置のカードの上下を入れ替え再初期配置します。(右図)それでも6マス置けない場合は、お手数ですが(1)からやり直してください。

### <再初期配置例>



上のカード  
下のカードを  
入れ替える



### (その他)

- 1、山札が無くなったら、一番手札枚数の少ないプレイヤーの勝利！(同数は引き分け)
- 2、考慮時間は1分を目安にしてください。(公式戦は2分です。)
- 3、他プレイヤーへの具体的アドバイス(色、配置箇所)は禁止！
- 4、もしダイヤ、枠の色の勘違いがあったら指摘してあげてね♪(ペナルティはなし)
- 5、一度重ねたら別のカードと交換はできません。(待ったなし)

## ★免責事項

「ルール」に重大な欠陥が見つかった場合は、変更される可能性もあります。ご了承お願いいたします。

★ルール考案者: ていー(TEE)

★製造メーカー: ゲームメーカー「あんちっく」

<http://antic-main.com/>

別ルールも公開中♪\(^)/